
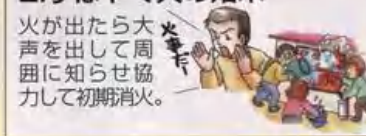



班ごとに「いつとき避難場所」をきめましょう

1. いつとき避難場所とは

地震時3原則		災害発生時にはあわてずに行動してください。
1. その場にあった身の安全 身を守る。 出口の確保。 	2. すばやく火の始末 火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初期消火。 	3. となり近所の助け合い となり近所に声をかけ合い助け合う。 

- 阪神・淡路大震災のとき、生き埋めや閉じ込められ人が助けられたのは、家族以外には“隣人”が大半でした。
- 震災で、家が倒壊の恐れがあったり火災が発生したとき、一時避難する場所が必要です。
- それが“いつとき避難場所”です。そこで、ご近所の方と心強い相談や助け合いができます。
- 場所は、数十人が集まれる近くの広場です。



詳しくは「青葉区ガイドマップ防災マップ」をご覧ください（最新版は平成20年12月です）

2. 決め方は

公園清掃の日や班の集まりの日に

1. 参加された皆さんできめましょう
2. 皆さんで自己紹介もしましょう
3. 班長さんはいつとき避難場所を自治会（事務局）に報告しましょう H21年8月～H22年9月